

# 子供達の幼稚園時代の健康状態

久 米 京 子

子供の體重が、一二週間續けて減つて來る様な時は、其の儘で置くに、病氣になる事が多い様です。常に子供と生活と共にしてゐる母親には、體重の減る原因が、氣候不順の爲ださか、或ひは食物が不適當だつた爲ださか、又は精神的な疲労の爲ださか、大抵見當がつく様です。ですから、まめに體重を測つてみますと、體重の減つて來る傾向が早く判つて、事前に事を防ぐ事も出來る様に思ひます。

以前はそれ程頻繁にも測つて居ませんでした。最近は、週末には必ず子供達の體重を測つてみて、これをグラフに記入する事にしてゐます。子供はまる二歳違ひの兄妹でして、以前に測つたものや、最近のを合せた體重表を、日記に記入された罹病の記録を併せて見渡して見ると、何かと思ひ當る節がある様ですから、二三の感想を書いて見度いと思ひます。

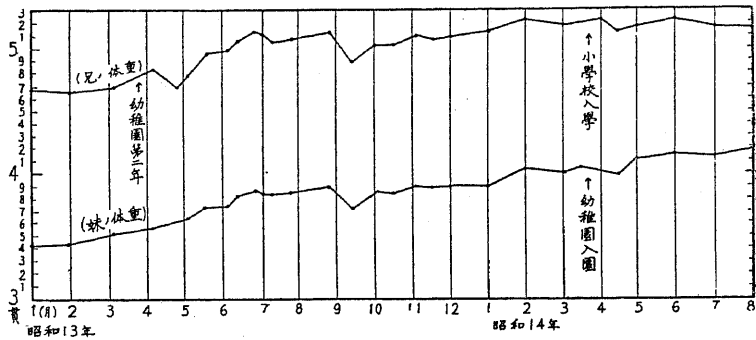
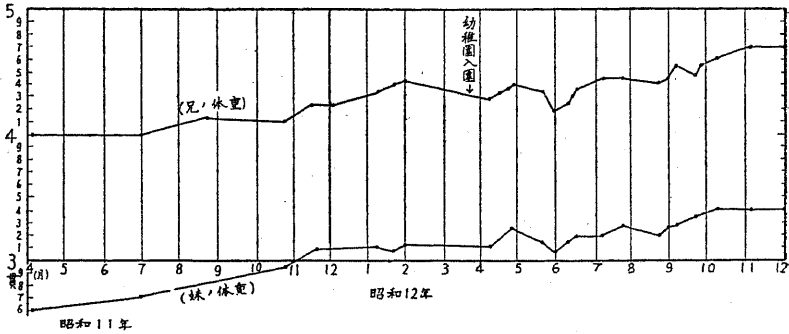
第一表は、兄の方の幼稚園時代を中心にして、その前後三年餘りの、兄妹の體重表です。

上の線は兄の方で、下の方は妹のを現はしてゐます。

尙此の曲線のうち、太い實線になつてゐる部分が、それぞれ幼稚園と小學校に在る時代を示してゐます。此の表を見て第一に氣付く事は、二人共例外なく、晩夏の候に體重が減つてゐるさうな事です。よく云はれてゐる様に夏のむし暑さは、食慾をにぶらせ、よほご體にこたへるものらしく思はれます。昭和十一年の夏は東京で過し、翌十二年の夏は新潟方面の海に三週間程遊び、十三年には一月程、三崎に近い海で暮しましたが、體重の減少は何の夏にも避ける事は出来ませんでした。最初の海岸生活は、滞在日數も少く、土地も餘り適當で無かつたので、轉地中の體重は却つて減つて居ります。翌年は土地も良く、滞在期間も一ヶ月にしましたせいか、二人とも此の期間に體重は増したのです。併し、歸京後早速食慾の不振を起し、殆んど病氣もしないのに、僅かの間にすつかり痩せてしまひました。此の時程はつきり、都會生活の慘めさを感じた事はありませんでした。

次に目立つ事は、幼稚園や小學校に初めて入つた折や、

第一表



第二表

		體重增加	罹病種目	回数	病臥日數
昭和十一年	兄	450匁	消化不良 風邪	1 1	1 5 } 6
	妹	510匁	0	0	0
昭和十二年 (兄幼稚園 第一年)	兄	260匁	麻水風 疹痘邪	1 1 3	12 10 41 } 63
	妹	420匁	麻水風 疹痘邪	1 1 4	6 10 39 } 55
昭和十三年 (兄幼稚園 第二年)	兄	510匁	百日咳 消化不良 日射病 風邪	1 2 2 2	9 2 2 23 } 36
	妹	500匁	百日咳 消化不良 風邪	1 1 3	15 1 16 } 32

又は新學年の始めの様な時期には、何時も幾分體重が減つてゐるさいふ事です。兄の方は全く急に幼稚園に入る様になつたので、順應する迄に骨が折れた様なので、妹の場合には、約一ヶ年程兄の送り迎へに同伴して居りました。それで規則的に外出する事にも馴れ、幼稚園にもなじんで居りましたのに、矢張り、體重の減少は避ける事が出来ませんでした。一段階上の生活に入るのは、子供

乍らに、餘程精神の緊張を必要とするものらしく見へます。家の者達は、此の時期には、子供の心や身體を、大切にいたはり、保護してやらなければならぬ痛感いたしました。

第二表は、過去三年間に於ける、毎年の體重増加率を、罹つた病氣の種類を回数及び床に就いた日數を示した表です。これを見ますと、兄がはじめて入園した年、即ち、昭和十二年の體重増加率は目立つて少く、前年の四百五十匁に比べて、僅かに二百六十匁でありました。病臥日數も多く、前年の六日に對して、六十三日も寢て居ます。就中、風邪で寢た日が殊に多く、風邪は大抵の場合、氣管枝喘息にまで進んで居ります。嚴冬にも規則的に外出する様になつて、今までの呼吸器の鍛鍊不足が、曝露されて、こんなことになつたのだと思はれます。もつと小さい時から、呼吸器の鍛鍊をしたらばよかつたのかとも思ひ、又此の體質の子供では、身體の事ばかりから考へたら、或ひは、幼稚園に通はず事が無理だつたのかしらんとも、考へて居ります。

最後に考へられます事は、幼稚園に於ける病氣の傳染の問題です。第二表を見れば判る様に、兄が入園してから、ハシカ、水痘、百日咳を、順次に經過して居ります。交友の範圍が急に廣くなり、外部との接觸が急に激しくなつた

事にて、傳染の経路は勿論はつきり致しませんが、其の都度これを妹にも傳染して居ります。風邪等もうつるものごみへ、兄の始めて入園した年は、妹の方も病臥日數が、前年の零日から、一躍五十五日に上つて居ます。そして此の年には體重の増加率も思はしくありません。第一表のグラフを見ますと、兄が始めて入園した學年始めには、妹の生活状態は少しも變つてゐないのに、兄と同様體重の低下を示して居ります。これはハシカに罹つた爲であります。さうせかゝる病氣なら、小學校に上る前にかゝつた方がよい等と考へる母親もある様ですが、さうもこれは、少々亂暴に思はれますので、母親達の、お互ひの注意深さ遠慮深さによつて、お互ひの子供の幸福を増進させてゆき度いものだと思ひます。望蜀の感があるかも知れませんが、何と云つても母親は素人であり、且は又、親の慾目といふ事も有勝ちなものですから、せめて傳染病の最も繁しい幼稚園時代だけでも、毎朝毎朝登園する子供に對して専門醫が診断を下すといふ様な事に依つて、傳染病を幼稚園から遮斷する方法でもつけばよいが等とも考へられます。